

筒石保育園の概要

所在地 糸魚川市筒石 369-2
園長名 長崎 智潤
T E L 025-567-2546
F A X 025-567-2547

園 児 数 (令和7年5月1日現在)							
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
男	1	1	1	0	0	1	4
女	0	0	1	2	2	0	5
計	1	1	2	2	2	1	9

1 保育園の概観

(1) 沿 革

- ・昭和19年 4月 宗教法人本廣寺の社会事業として保育所開設
- ・昭和22年12月 県認可
- ・昭和49年 3月 社会福祉法人 筒石保育園設立認可
- ・昭和49年12月 園舎新築 (定員90名)
- ・平成 7年 3月 園舎改築 (定員60名)
- ・平成10年 4月 定員変更 (45名)
- ・平成18年 4月 定員変更 (30名)

(2) 保育課題

○入園する乳幼児の最善の利益を考慮して、その福祉を積極的に増進するとともに、地域における子育てを支援する。

2 本年度の保育課題について

(1) 保育目標

◎強く、明るく、元気に伸びる

(2) 今年度の重点目標

- 思いやりがあって みんなと仲良く遊べる子ども
- 心も体も健康で 頑張りのきく子ども
- 社会や自然の恵みに感謝する子ども
- いろいろなことに興味や関心をもち よく考える子ども

(3) 重点目標達成の方策

- いろいろな世代の人とのかかわりの場を多くもつ。
- 年間をとおして自然とのふれあいを大切にする。

3 小学校との連携

- 園児と小学校 (1年生、5年生、6年生) 児童との交流活動の実施
- 園職員による小学校 (1年生) の授業参観
- 中学校 (2年生) の保育園での職場体験の受け入れ
- 学校職員による園児 (年長児) の保育参観、情報交換の実施

認定こども園 能生保育園の概要

所在地 糸魚川市大字能生 6856-7
 園長名 老野生 一義
 TEL 025-566-4743
 FAX 025-566-4746
 ホームページ <http://www.nou-hoikuen.com/>

園 児 数（令和7年5月1日現在）							
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
男	1	1	1	5	4	6	18
女	1	0	3	4	5	5	18
計	2	1	4	9	9	11	36

1 保育園の概要

（1）沿 革

- ・昭和24年10月1日 宗教法人光栄寺の社会事業として保育所開設
- ・昭和56年4月1日 社会福祉法人光栄会能生保育園設置認可
- ・昭和58年3月1日 園舎改築新園舎落成（定員90名）
- ・平成28年4月1日 認定こども園能生保育園（保育所型）開設（定員80名）
- ・平成31年4月1日 クラス名を一新

（2）保育課題

保護者ニーズの変化に応じた保育サービスの充実を図るとともに、子育て中の親の交流の場や情報提供を積極的に行い、地域における子育てを支援する。

2 本年度の保育について

（1）保育目標

- いのちの尊さにふれる子ども
- 生きる喜びを感じる子ども
- うやまいと感謝の心をもてる子ども
- いっしょに育ちあう子ども

（2）職員の重点目標

- 子ども主体の豊かな活動につながる環境をつくる
- 保育の見える化・言語化を心がけ、保護者や地域等へ伝える
- 自分の思いや考えを自ら進んで発言し、保育を語り合い高め合う
- 異年齢の子どもと関わったり、地域資源（人・物）を生かした保育を行う

（3）重点目標達成の方策

園生活ではそれぞれの立場を越えて、ともに生きともに育ちあう朋として尊重し、その場その時の事象を大切にしながら、適切な保育を行う。

3 小学校との連携

- 園主催による児童（1～6年生）との交流活動
- 小学校教諭の保育参観
- 園児の小学校訪問
- 能生中学校区特別支援教育連絡会への参加
- 保育職員と小学校教諭との連絡会の実施
- 子どもの様子についての情報交換

いずみ保育園の概要

所在地 糸魚川市大字能生 1170-30
園長名 清水 博
T E L 025-566-2184
F A X 025-555-7472

園 児 数（令和7年5月1日現在）							
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
男	0	2	3	2	5	6	18
女	1	3	1	1	3	4	13
計	1	5	4	3	8	10	31

1 保育園の概観

（1）沿 革

- ・昭和24年 大泉寺保育園設立
- ・昭和59年 社会福祉法人 大泉会設立 いずみ保育園と改称、現在地へ移転

（2）保育課題

○一人ひとりの子どもの思いや育ちを大切にし、その子に合った温かい保育、養護と教育をしていく。

2 本年度の保育について

（1）保育目標

- 素直に自分を表す子
- お互いに認め合う子
- 夢中で遊ぶ子

（2）本年度の重点目標

- 毎日を心地よく安心して過ごす。
- いろいろな体験を通して心身共に健やかに育つ（生きる力を育む）。

（3）重点目標達成の方策

- 園児一人ひとりを温かく受け止め、その思いに寄り添う。
- 遊びを通して、さまざまな体験を積み重ねる。

3 小学校との連携

- 園児と小学校（1年生）児童との交流活動の実施予定
- 園職員による小学校の授業参観・授業協議会への参加
- 子どもの様子についての情報交換の実施
- 園児の学校訪問（年長児）の実施予定

認定こども園 おひさま保育園の概要

所在地 糸魚川市大字小見 890-3

園長名 山本 裕美

T E L 025-566-2705

F A X 025-566-2705

園 児 数 (令和7年5月1日現在)							
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
男	1	6	3	6	0	9	25
女	2	1	4	3	7	2	19
計	3	7	7	9	7	11	44

1 保育園の概観

(1) 沿 革

平成23年4月1日 五隣会、中能生友の会、上南友の会の三法人合併により社会福祉法人みその会設立。社会福祉法人みその会 東能生保育園、中能生保育園、南能生保育園となる。

平成25年3月31日 東能生保育園、中能生保育園、南能生保育園 閉園

平成25年4月1日 社会福祉法人みその会 おひさま保育園 開設

平成31年4月1日 認定こども園（保育所型）へ移行

(2) 保育教育課題

地域に開かれたこども園として家庭、園、地域と連携を図りながら、「健康で生き生きとした生活力のある子ども」「人とのかかわりの中で豊かな人間性をもった子ども」を育む保育教育に努める。

2 本年度の保育課題について

(1) 保育教育目標 “おひさまのように明るく、心も体も健康な子”

- 優しい心、思いやりのあるこども
- 自分で考えて、行動できるこども
- 友だちと、楽しく遊べるこども
- 創造性豊かなこども

(2) 本年度の重点目標

- 一人ひとりの子どもが、安心して楽しく園生活を過ごせるよう、年齢に応じた生活リズムやそれぞれの園で過ごした経験を大切にしながら、保育教育内容や環境を十分に整える。
- 子どもの主体的な活動や友だちとのかかわりを大切にしながら、様々な体験活動を通して豊かな感性、表現力、創造性を育む。

(3) 重点目標達成の方策

- 一人ひとりを大切に育てることを基本とし、安心感と信頼感のもとに様々な体験活動をと おして感性を磨き、豊かな五感、工夫する力や生きる力を育む保育教育
- 社会的なマナーや基本的生活習慣を身に付け、健康・安全を大切にする保育教育
- 地域の方や小学生・中学生など色々な人とのかかわりを喜び、自己肯定感や思いやりの心を大切にする保育教育
- 恵まれた自然や環境に積極的にかかわりながら栽培活動・食育活動に取り組み、協力し合う心・自然の恵みに感謝する心を育む保育教育

3 小学校との連携

- 小学生との交流活動の実施
- 保育参観の実施及び子どもの様子についての連絡会の実施（保・小連絡会議 年2回予定）
- 小学校6年生を招いての交流お楽しみ会(2月)
- 放課後学童保育、夏休み学童保育の実施
- 合同防災訓練の実施(9月) 小学校交通安全教室に参加（4月）
- 感染症発生状況の情報共有
- 園だよりを通じて保育活動紹介
- 園職員による小学校の授業参観、学校運営協議会への参加

木浦保育園の概要

所在地 糸魚川市大字木浦 3780
園長名 楠田 優子
T E L 025-566-3001
F A X 025-566-5247

園 児 数(令和6年5月 1 日現在)							
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
男	0	0	1	0	1	2	4
女	0	1	0	2	2	4	9
計	0	1	1	2	3	6	13

1 保育園の概観

(1) 沿 革

- ・昭和 45 年 10 月 1 日設立 認可保育所
- ・社会福祉法人五友会 木浦保育園 木造平屋建 473.33 m²
- ・90 名定員として設立された施設。
園舎内のスペースは広く、園庭は西性寺の境内の一部を借用している。塩害被害が大きい
ため戸外の固定遊具は少ないが、木立の中、自然の中で存分に遊ぶことができる。

(2) 保育課題

- 利用者の保育ニーズに対応できるよう努力する。
- 子どもが心身共に健全に育つよう人的・物的環境整備に努め、一人ひとりが自己を十分に
発揮しながら活動できるように配慮する。

2 本年度の保育について

(1) 保育目標…(理念) 自分を大切にすると同じように他人も大切にする心を育てる

- 心身ともに健やかな子…丈夫な体で元気に遊びこころ豊か(心の安定) な子
- 思いやりの心を持つ子…思いやりや感謝の気持ちをもち、友達を大切にする子
- 伝えあえる子…自分の考えをしっかりと伝え、相手の話もしっかりと聞いて受け止め、協力し
合える子
- 意欲のある子…様々な事柄に興味や関心を持ち、創意工夫ができる子

(2) 本年度の重点目標

- 健康・安全に留意しながら、戸外活動を多く取り入れ、足・腰を鍛え、努力・協力・協調
の精神を育てる。また、災害に備えて避難訓練等月 1 回実施する。
- 思考力・創造性が育つようないろいろな素材を活用し創作活動をする。
- 絵本の読み聞かせ等を通して感性を豊かにする。

(3) 重点目標達成の方策

- 生活(食事・午睡・排泄・着脱・清潔)では、発達年齢にあわせた援助で発達を促し、教
育では同年齢や異年齢との関わりをもち「あそび(活動)」の中で社会性・創造力・感性が
育つような保育を心がける。「夢中になる」ことを大切にしていきたいと考える。

3 小学校との連携

- 感染症に留意し、対応しながら状況にあった活動を行っていく。
- 小学校や地域との連携行事に保育園も参加する。(小学校主催行事・地区運動会芸能祭)
- 1～6年生の児童(卒園児)との交流活動を行う。
- 小学校の授業参観や、懇談会等に参加する。また、保育園の園児の様子なども見に来ていた
だく。
- 子どもの様子についての情報交換の実施。(年度途中や小学校入学前等)

はやかわ保育園の概要

所在地 糸魚川市上覚 33
園長名 下越 厚子
T E L 025-555-4004
F A X 025-555-2062

園 児 数 (令和 7 年 5 月 1 日現在)							
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
男	0	3	3	4	4	6	20
女	0	4	2	3	2	6	17
計	0	7	5	7	6	12	37

1 保育園の概観

(1) 沿 革

- ・平成 11 年 社会福祉法人慈光会公設民営として下早川保育園が開設 定員 90 名
- ・平成 16 年 中早川へき地保育所統合
- ・平成 17 年 上早川へき地保育所統合
- ・平成 21 年 公設民営から民設民営 定員変更(70 名)
- ・平成 23 年 はやかわ保育園に改称
- ・平成 25 年 定員変更(50 名)
- ・平成 29 年 定員変更(55 名)

(2) 保育課題

○乳幼期の基礎となる生活習慣や人間関係を培いながら、集団生活の中で共に楽しみ、共感し合って育つことを大切にする。

2 本年度の保育課題について

(1) 保育目標

- 健康でたくましい子
- 思いやりのある心豊かな子
- 創造し表現できる子

(2) 今年度の重点目標

- 生活に必要な基本的な生活習慣を身につける。
- 生活や遊びをとおして、思いやりのある心をもち、いきいきと遊ぶ。
- 自然に触れていろいろな体験や発見をする。
- 地域の人との触れ合いを大切にする。

(3) 重点目標達成の方策

- 一人ひとりの生活の実態を把握し、安心感と信頼感をもって活動できるよう思いや願いを受け止める。
- 集団生活の中で、関係作りや尊重する心を大切に、共に楽しみ共感し合って育つことを援助する。
- 生活や遊びの中で、自発的・意欲的にかかわれる場を構成し、主体的な活動をとおして様々な体験を工夫する。
- 地域に開かれた保育所となる工夫をすると共に、保護者の状況やその意向を理解・受容し協力しながら保育を進めていく。
- 栽培活動をとおし興味や関心を深め、感動したり食物を大切にしたりする気持ちを育てる。

3 小学校との連携

- 園児と小学校児童との交流活動の実施
- 交流活動前後における小学校教諭との打ち合わせ・話し合いの実施
- 園職員による小学校の授業参観・授業協議会への参加
- 小学校との交流や意見交換の場をもち、申し送りを丁寧に行い、発達の連続性を図る。
- 小・中学生の職場体験受け入れ

いくみ保育園の概要

所在地 糸魚川市田伏 1208
園長名 丸田 賢龍
T E L 025-555-4344
F A X 025-555-7225

園 児 数（令和 7 年 5 月 1 日現在）							
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
男	1	3	3	1	4	2	14
女	0	0	4	5	7	2	18
計	1	3	7	6	11	4	32

1 保育園の概観

（1）沿 革

- ・昭和 29 年 4 月 大雲寺本堂において保育開始
- ・昭和 30 年 1 月 県認可
- ・昭和 30 年 7 月 寺庫裡を取り壊し、保育園を新設
- ・昭和 34 年 6 月 社会福祉法人 大和川東保育園設立認可
- ・平成 7 年 12 月 園舎改築
- ・平成 8 年 4 月 法人名・園名を瑞雲会いくみ保育園と変更
- ・平成 25 年 12 月 園舎増改築 定員変更（70 名）
- ・平成 30 年 4 月 定員変更（60 名）
- ・平成 31 年 4 月 定員変更（50 名）

（2）保育課題

- 入園する乳幼児の最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進すること

2 本年度の保育課題について

（1）保育目標

- 元気な子ども
- あいさつのできる子ども
- 人の話を落ち着いて聞ける子ども

（2）今年度の重点目標

- 自分大好き、みんな大好きな子ども
- 夢中で遊ぶ、元気な子

（3）重点目標達成の方策

- 愛情を持って接し、子どもたちとの信頼関係を築く
- 遊びの環境づくり、運動遊びの充実、体力の向上

3 小学校との連携

- 園児と小学校児童との交流活動の実施
- 園職員による小学校の授業参観、授業協議会への参加
- 子どもの様子についての情報交換の実施

大和川保育園の概要

所在地 糸魚川市大和川 978
園長名 渡辺 志津江
T E L 025-552-3142
F A X 025-552-3142

園 児 数 (令和 7 年 5 月 1 日現在)							
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
男	0	5	1	7	3	4	20
女	0	2	2	3	3	7	17
計	0	7	3	10	6	11	37

1 保育園の概観

(1) 沿 革

- ・昭和 30 年 5 月 教念寺住職により保育園開始。大和川自治会に移管され、神社境内に保育園開設
- ・昭和 33 年 4 月 季節保育園となる
- ・昭和 42 年 8 月 糸魚川市立大和川保育園になる (定員 90 名)
- ・昭和 53 年 4 月 1 日 鉄筋コンクリート造 2 階建新築 (定員 120 名)
- ・昭和 58 年 4 月 1 日 定員変更 (90 名)
- ・平成 12 年 3 月 31 日 乳児室・給食室の増改築
- ・平成 12 年 4 月 1 日 0 歳児受け入れ
- ・平成 16 年 4 月 1 日 定員変更 (60 名)

(2) 保育課題

- 基本的生活習慣や態度を身につけ、健康な子どもを育てる。
- 人とのかかわりながら、夢中になって遊ぶ子どもを育てる。
- 自然に触れて遊び、豊かな心をはぐくむ。

2 本年度の保育について

(1) 保育目標

- 思いやりのある子 ○夢中になって遊ぶ子 ○元気な子

(2) 本年度の重点目標

- 自分のやりたいことに向かっていく子ども
- 5 歳児 自信を持って、仲間とともに遊びや生活を進めていく
- 4 歳児 様々な感情体験を重ねていく
- 3 歳児 安心して、好きな遊びを存分に楽しむ
- 2 歳児 安心して、したい遊びを楽しむ
- 1 歳児 安心して過ごす 身近な興味のあることに向かう
- 0 歳児 安心して過ごす

(3) 重点目標達成の方策

- 保育者とのかかわりが心地よいものとなり愛着関係を築くことで、安心感や自己肯定感の土台を育んでいく。
- 思いを様々な形で表現する子どもたち一人ひとりに寄り添い、「どうしたのかな」と心の内を探りながら、丁寧な応答を重ねていく。
- 自分からやってみようとする気持ち (主体性) を大切に、夢中になれる時間や場の環境を保障していく。
- 豊かな自然の中で存分に遊び、ワクワクドキドキする体験の中で、好奇心や探求心を育む。
- 家庭と園との細やかなやりとりの中で、子どもの成長や悩みを共有し合える信頼関係を大切にする。

3 保育園・小学校との連携

- 自然の中での日常的な交流
- 他保育園との年長児交流
- 園職員による小学校の授業参観、授業協議会への参加
- 小学校職員による保育参観、保育協議会への参加
- 子どもの様子についての情報交換の実施 (年度途中や小学校入学時等)

西海保育園の概要

所在地 糸魚川市水保 1843
園長名 小池 智子
TEL 025-552-0712
FAX 025-552-0712

園 児 数 (令和 7 年 5 月 1 日現在)							
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
男	0	1	2	1	4	1	9
女	2	2	5	3	2	2	16
計	2	3	7	4	6	3	25

1 保育園の概要

(1) 沿革

- ・昭和 27 年 12 月 31 日 開設
- ・昭和 28 年 3 月 31 日 児童福祉法により許可 (定員 80 名)
- ・昭和 40 年 4 月 1 日 定員変更 (60 名)
- ・昭和 58 年 12 月 15 日 新園舎完工
- ・平成 14 年 12 月 10 日 創立 50 周年記念式典
- ・平成 16 年 4 月 1 日 定員変更 (45 名)
- ・平成 20 年 4 月 1 日 " (60 名)

(2) 保育課題

- 身近な自然に目を向け、心豊かな子どもを育む。
- 集団生活の中で、基本的な生活のルールを身につける。
- いろいろな遊びをとおして、互いの思いに気づきあい、心のつながりを豊かにする。

2 本年度の保育課題について

(1) 保育目標

- ひとみかがやく子ども
- ・思いやりのある子 ・夢中になって遊ぶ子 ・元気な子

(2) 重点目標

- 心地よい安心感の中で、自分で考え行動し、意欲的に園生活を送る

(3) 重点目標達成のための方策

- ①ていねいで優しいかかわりを根底とし、子どもが自ら育ちたい気持ちに寄り添い支えていく。
- ②丸ごと子どもを愛し、子どもの力を信じ、おもしろいと感じながら子どものやりたい気持ちを大切にしていく。
- ③子ども一人ひとりのよさを保育士が感じながら子どもに寄り添い、安心感の中で安定して生活できるようにしていく。
- ④子ども一人ひとりのよさを認め、その子の今の姿を認めていく中で、自己肯定感を育んでいく。
- ⑤遊びや生活の中で子どもたちが自ら動きだすには、保育者との愛着関係が大切だということを常に意識をし、子どもの成長に合わせたかかわりをしていく中で、職員同士、保育を語り、保育観を共有し、保育を高めていく。
- ⑥成功体験や失敗体験の中で乗り越える力や、あきらめず挑戦しようという気持ちを育て、自信が持てるようにしていく。
- ⑦子どもが何を思っているのか、どんなことを求めているのかを考え、一人ひとりに合わせた援助を行っていく。
- ⑧子どもが何を楽しんでいるのか、何が大切かを考え、思う存分楽しめるような環境を再構築していく。

3 小学校との連携

- 保育・授業参観の交流と協議、異年齢児交流 (訪問とふれあい交流)
- 就学前の情報交換と共有 (小学校への滑らかな接続・子ども理解を図る)
- 職員間の交流と理解

糸魚川東保育園の概要

所在地 糸魚川市東寺町 2-4-2
園長名 室川 真希
T E L 025-550-1525
F A X 025-550-1525

園 児 数 (令和 7 年 5 月 1 日現在)							
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
男	1	9	9	7	9	12	47
女	2	5	7	14	5	9	42
計	3	14	16	21	14	21	89

1 保育園の概観

(1) 沿 革

- 平成 16 年 4 月 1 日 寺町保育園と蓮台寺保育園を統合して開設 (定員 130 名)
- 平成 31 年 4 月 1 日 定員変更(140 名)

(2) 保育課題

- さまざまなことに目を向け、夢中になって遊ぶ子を育む。
- 園生活の中で、基本的な生活のルールを身につける。
- 自然に触れて遊び、いろいろな発見をする中で、豊かな感性を育む。
- 身近な人とのかかわりを通して、思いやりやいたわりの心を育む。

2 本年度の保育課題について

(1) 保育目標

- ひとみかがやく子ども ・思いやりのある子 ・夢中で遊ぶ子 ・元気な子

(2) 重点目標

- 好奇心にあふれ、知りたがりにやりたがりな毎日にひとみかがやかせる子

(3) 重点目標達成のための方策

- 温かさや優しさたっぷりの愛情で、一人ひとりを大切に安心して生活できるようにしていく。
- 子どもの表しや気持ちに寄り添い、保育者が心地良い大好きな人・嬉しい人となれるようかかわっていく。
- その子の良さやその子の今の姿を認め、ありのままの自分でいいんだという自己肯定感を育んでいく。
- 子どもの主体性を大切にし、自ら動き出す姿に保育者も心を寄せ見守ったり、かかわったりしていく。
- 子どもの知りたい・やりたいを大切に、思う存分夢中になれる時間や環境の保障をし、かかわる保育者もワクワクしながら、子どもの持っている力や学びを支えていく。
- 成功体験や、つまづき・葛藤・モヤモヤする体験を大切にし、あきらめない心や乗り越えていく力を育んでいく。
- 異年齢とのかかわりを大切にし、人とかかわる心地よさや楽しさ、思いやりの気持ちを感ぜられるようにしていく。

3 小学校との連携

- 幼保小連絡会議など子どもの様子についての情報交換
- 授業参観及び保育参観を通して、小学校教諭、園職員の話し合いの実施
- 園だより、学校だより等のやりとりの中での情報交換
- 保育所児童保育要録の送付に伴う情報提供
- 交流活動の実施

認定こども園 糸魚川幼稚園の概要

所在地 糸魚川市寺町1-7-12

園長名 井伊 光紉

T E L 025-552-4119

F A X 025-552-0322

園 児 数 (令和7年5月1日現在)							
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
男	0	4	3	12	11	11	41
女	0	1	2	8	10	8	29
計	0	5	5	20	21	19	70

1 幼稚園の概観

(1) 沿革

- ・昭和 5年 正覚寺内にて日曜学校を開校
- ・昭和 9年 児童教化のため、六児子供会、糸魚川少年団が誕生。町内有志の方々、後援会の協力で六児子供会館を設立（後の糸魚川幼稚園の前身）
- ・昭和12年 6月1日 社会事業法による施設として認可され、「糸魚川保育園」を開園
- ・昭和22年 法改正に伴い児童福祉法による保育施設「糸魚川保育園」となる。
- ・昭和35年 3月 文部省学校教育法の本旨に沿い「糸魚川幼稚園」となる。
- ・昭和57年 3月 「学校法人いといがわ学園 糸魚川幼稚園」となる。
- ・昭和58年10月 法人化に伴い、2か年計画で園舎を改築する。
- ・昭和60年10月 改築完成 現在に至る。
- ・平成28年 3月 新園舎完成 認定こども園 糸魚川幼稚園となる。

(2) 教育課題

社会環境、生活様式の変化により、対人関係、言葉、表現等が大きな問題となっている。と同時に、親子の関係・乳幼児期の関わり、心の成長なども問題となっている。このことをとらえて、幼稚園教育要領（五領域）に基づき、ともに生き、ともに育ちあう保育・教育を実践、展開していく。

2 本年度の教育について

(1) 教育目標

「仏さまの教えを聞き つよく 明るく のびのびと みんな なかよくする こども」

国の定める学校教育法に基づき、幼稚園教育要領に従い人間形成の基礎を仏教の精神（親鸞聖人のみ教えとともに）により、幼児期に必要な情操教育に留意し豊かな心を育む。

- いのちを大切にすることも（生命尊重の心）
- ありがとうといえるこども（感謝の心）
- ごめんなさいといえるこども（反省の心）
- 健康で明るく友だちと仲良くできるこども（思いやりの心）

(2) 重点目標

- 3歳児・4歳児・5歳児それぞれの基本的生活習慣を身につけ、心身ともに元気な子ども
- 遊び（活動）をとおして自分の思いや考えを伝え、一人ひとりが思いやりのある子ども
- ジオパークの不思議をとおして、自然の不思議、様々ななぜ、どうして？と考える子ども

(3) 重点目標達成の方策

- 子どもたちの年齢、発達から見ても目標がすぐに達成されることは難しい。しかし日々の保育、毎日の生活、遊びから学ぶ基本的生活の習慣等、小さいことの積み重ね、繰り返しにより一人ひとりの生きぬく力を確かなものにしていく。
- 幼稚園と家庭のキャッチボールは勿論のこと、地域、学校、様々な教育機関等と連携し、共に子どもたちの健やかな成長、発達を促していく。
- 乳幼児期（つのつく子育て）の育ち、育ての大切さを保護者とともに実践・展開していく。
- 教職員の資質向上、自己研鑽のための研修、研究をし、より良い援助・支援につなげていく。

3 小学校との連携

- 年長児と1年生との交流活動
- 5年生との交流活動
- 中学生・高校生との交流活動
- 交流活動前後の小学校との打ち合わせ
- 園職員による小学校の授業参観
- 子どもの様子についての情報交換（年度途中、小学校入学時等）

中央保育園の概要

所在地 糸魚川市横町 2-7-20
園長名 岡澤 美香
T E L 025-552-0783
F A X 025-552-0783

園 児 数 (令和7年5月1日現在)							
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
男	1	9	6	7	8	6	37
女	1	4	5	4	6	8	28
計	2	13	11	11	14	14	65

1 保育園の概観

(1) 沿 革

- ・昭和 35 年 4 月 市立中央保育園開設（定員 100 名）
- ・昭和 41 年 4 月 園舎増築 園庭拡張 定員変更（150 名）
- ・平成 8 年 5 月 子育て支援センター併設
- ・平成 10 年 2 月 新園舎完工 移転
- ・平成 10 年 4 月 定員変更（60 名） 多機能保育園となる
- ・平成 13 年 4 月 定員変更（90 名）
- ・平成 25 年 1 月 支援センター、めだか園移転
- ・平成 27 年 4 月 定員変更（100 名）
- ・平成 28 年 2 月 定員変更（105 名）

(2) 保育課題

- 主体的な遊びを進める中で人や自然、物とのかかわる力を育む。
○いろいろな運動遊びを体験する中で、丈夫な体づくりをする。

2 本年度の保育について

(1) 保育目標

- ひとみかがやく子ども

（２）本年度の重点目標

- やってみよう　～大好きがいっぱいの毎日を～

（３）重点目標達成の方策

- ・やさしさとあたたかいかかわりで一人ひとりの子どもを大切にし、安心して生活できるようにしていく。
- ・子ども一人ひとりの表情、しぐさ、つぶやき等の表しに「いいね」に応答し、子どもの「心の基地になる愛着者」となれるようにしていく。
- ・子ども一人ひとりの良さを認め、子どもの今の姿を丸ごと受け止め、自己肯定感を育んでいく。
- ・子どもが自ら遊びや生活へ向かうよう、年齢や発達に応じて興味や関心がもてるような環境を用意し、子どもの育とうとする力を信じ、ワクワクしながら見守ったり、かかわったりしていく。
- ・いろいろな感情体験を大切にし、あきらめない心、乗り越えていく力を育んでいく。
- ・心を動かしているその子の遊びを、保育士も心を動かして見ていく。
- ・異年齢のかかわりを大切にし、人とかかわる心地よさや楽しさ、思いやりの気持ちを感じられるようにしていく。
- ・子どもが健康に過ごせるよう、生活リズム（早寝・早起き・おいしい朝ごはん、メディアコントロール）の大切さを伝えながら家庭との連携を図っていく。

3 小学校との連携

- 年長兄の学校訪問
- 交流活動前後における小学校教諭との打ち合わせ、話し合いの実施
- 園職員による小学校の授業参観、授業協議会への参加
- 小学校教諭による公開保育参観、保育協議会への参加
- 子どもの様子についての情報交換の実施（年度途中や小学校入学時等）

やまのい保育園の概要

所在地 糸魚川市上刈 1-14-1

園長名 伊藤 一美

T E L 025-552-1325

F A X 025-552-1325

園 児 数 (令和7年5月1日現在)							
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
男	3	8	9	10	12	13	55
女	1	7	8	12	10	10	48
計	4	15	17	22	22	23	103

1 保育園の概観

(1) 沿 革

- ・昭和44年12月 上刈へき地保育所を統合
- ・昭和45年 1月 開設
- ・昭和52年 2月 園舎増築
- ・平成11年 4月 0歳児受け入れ開始
- ・平成24年12月 園舎新築・移転 めだか園・子育て支援センターを併設
園名「山ノ井保育園」を「やまのい保育園」と改名

2 本年度の保育目標について

(1) 保育目標

- ◎ひとみかがやく子ども
- 思いやりのある子 ○夢中になって遊ぶ子 ○元気な子

(2) 園の重点目標

「友だち大好き 先生大好き 保育園大好き」

(3) 重点目標達成の方策

- ていねいで優しいかかわりを根底とし子どもが自ら育っていく力を応援し、育つ姿を喜び合いながら成長を支えていく。
- 子どものすべてを愛し、力を信じ、おもしろいと感じながら子どものやりたい気持ちを大切にしながら見守っていく。
- 「やりたい」遊びを存分にできるよう、保育に意図をもち環境を整え、満足感や充実感につなげていく。
- 生活、遊びの両面においても、一人ひとりの発達を把握しながら、子どもの経験が積み重なり成長していけるよう年齢の連続性を見通し、細やかにていねいに環境設定や子どもの成長を支えていく。
- 成功体験や失敗体験の中で、乗り越える力やあきらめず挑戦しようという気持ちを育て、その姿を応援しながら自分に自信が持てるようにしていく。
- 子どもが期待を膨らませ楽しんで話を聴けるよう、ポイントを押さえ端的に伝えていく。
- 遊びや生活の中で、子どもたちが自ら動き出すためには保育者との愛着関係が大切であることを常に意識し、子どもの成長発達に合わせたかかわりをしていく中で、職員同士、保育を語り、保育観を共有し、保育を高めていく。
- 保護者と共に子どもの姿や心を認めながら成長を応援していく。
- 行事や活動では、子どもたちにとって何のために、どんなことを経験させたいのか、必要なかをしっかりと職員同士で語り合い、目的をきちんと定め、理解したうえで考え、進めていくようにする。

3 小学校との連携

- 小学校教諭の保育参観・協議会の実施
- 園職員の授業参観・協議会への参加
- 小学校・保育園相互の情報交換の実施

認定こども園 糸魚川カトリック天使幼稚園の概要

所在地 糸魚川市中央 2-1-40

園長名 齊藤 崇

T E L 025-552-1216

F A X 025-555-7216

園 児 数 (令和 7 年 5 月 1 日現在)							
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
男	1	0	4	5	6	5	21
女	0	2	4	5	7	8	26
計	1	2	8	10	13	13	47

1 幼稚園の概観

(1) 沿 革

- ・昭和 38 年 10 月 創立
- ・昭和 39 年 2 月 私立幼稚園「長岡カトリック天使幼稚園糸魚川分園」設置認可
- ・昭和 40 年 7 月 「糸魚川カトリック天使幼稚園」と名称及び園則を変更
- ・昭和 49 年 3 月 創立 10 周年記念式典挙行
- ・昭和 57 年 4 月 「学校法人 聖母学園 糸魚川カトリック天使幼稚園」に認可
- ・平成 元年 4 月 園舎新築祝い並びに創立 25 周年記念式典挙行
- ・平成 12 年 10 月 「モンテッソーリ教育」の実施
- ・平成 27 年 4 月 「認定こども園糸魚川カトリック天使幼稚園」に認可

(2) 教育課題

- これからを生きる子どもに必要な力を育成する、今日的な幼児教育の在り方の模索
- 人や自然・物と関わりながら、主体的な遊びを深める保育過程の構築
- 少子化社会における園の魅力づくりや環境整備
- 発達特性についての理解を深め適切な支援に努め、保護者や関係機関との連携強化

2 本年度の教育について

(1) 教育目標

あなたが大切 いつも一緒

- 神様と友だちを愛し、思いやりのある子
- 自分で考え、進んで行動できる子
- のびのびと体を動かし、元気に遊ぶ子

(2) 本年度の重点目標

- 自分で思考しながら遊びを広げ、主体的に様々な活動を楽しむ子を育成する
- 友だちとかかわり合って遊び、共に考えたり工夫したり協力したりする中で協働性を育む
- 運動遊びを中心にのびのびと遊び、体力や運動技能の向上を図る。同時に、挑戦する心や粘り強くやり抜く心を育成する
- 「モンテッソーリ教育」の再構築と実践

(3) 重点目標達成の方策

- 一人ひとりを丁寧に見取り、よさや個性を認め、子どもに寄り添った保育を行う。
- 幼児の自発的な活動を引き出すため、行動の理解と予想に基づき、環境設定を工夫する。
- 協働性や道徳性を育むよう、友達との遊びや多様な関わりの場を意図的に設ける。
- 子どもの背景を洞察した子ども理解に努め、一斉保育の中で個に応じた保育を展開する。
- 糸魚川の自然に親しむよう、豊かな体験の場を設定する。
- 保育者の協働体制を大切にし情報共有を図るとともに、高めあう研修の設定・受講の推進

3 小学校との連携

- 小学校の公開授業、協議会への参加
- 子どもの様子についての情報交換 (小学校就学前・後)
- 交流活動における小学校教諭との打ち合わせ、話し合いの実施
- 小学校との接続にかかる研修の設定

大野保育園の概要

所在地 糸魚川市大野 1980-1
園長名 室橋 麻紀
TEL 025-552-7500
FAX 025-552-7500

園 児 数 (令和7年5月1日現在)							
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
男	0	4	1	1	1	4	11
女	1	2	1	3	5	4	16
計	1	6	2	4	6	8	27

1 保育園の概観

(1) 沿革

- ・昭和30年 季節保育として開設（大野小学校体育館、昇降口を間切り）
- ・昭和34年 へき地保育園・独立園舎（大野神社境内）
- ・昭和64年1月1日 市立大野保育園完成 現地大野 1980-1
- ・平成11年1月1日 保育園歌完成

(2) 保育課題

- 主体的な遊びを通して、夢中になって遊ぶ子を育てる。
- 生活や遊びを通して相手を思いあう気持ちや、自ら考え行動できる子を育てる。
- 自然に親しみ存分に遊び、豊かな感性や丈夫な体づくりをする。

2 本年度保育課題について

(1) 保育目標

- ◎ひとみかがやく子ども
- 思いやりのある子
- 夢中になって遊ぶ子
- 元気な子

(2) 重点目標

- さまざまなかかわりを通して、豊かな園生活を送る

(3) 重点目標達成の方策

- ・ありのままの姿（表し、気持ち）に愛情をもった丁寧なかかわりをし、保育者が心地良い大好きな人、安心の存在となれるようにしていく。
- ・子どもの良さを認め、自分が大好きで、自分のことを信じていることができる自己肯定感を育てていく。
- ・子どもの主体性を大切にし、“自ら”の姿に心を寄せて見守ったり、かかわったりしていく。
- ・遊びや生活の中で、やってみようとする意欲やできなかった悔しさ、できた喜びを感じられるような環境を工夫し、やさしく丁寧に見守っていく。特に生活習慣は子どもがやりたくなるような保育者の話し方やアイデアを考えていく。
- ・つまずきや葛藤の体験を大切にし、乗り越えていけるように援助していく。
- ・生活面や社会的なルールを自ら獲得できるよう、正しいやり方を見せたり、優しく丁寧に教えたりしていく。
- ・全身を使った遊びやふれあい遊びを通して、たくましい体づくりをしていく。
- ・地域ならではの自然や神社、民話などにふれ、親しみを持てるようにしていく。

3 小学校との連携

- 園児と児童との交流活動の実施
- 交流活動前後における小学校教諭との打ち合わせを実施
- 年3回の保小連絡協議会の実施（大野小学校と）
- 園職員による小学校の授業参観と協議会への参加
- 小学校職員による園の保育参観と協議会への参加
- 子どもの様子についての情報交換の実施（大野小学校以外の就学先とも実施）

小規模保育所 ひまわり保育園・キッズランドの概要

所在地 糸魚川市寺島 3-2-40
園長名 牧野 美佳
TEL 025-550-1588
FAX 025-552-1589
ホームページ <http://www.oretta.jp/kidsland/>

園 児 数 (令和 7 年 5 月 1 日現在)				
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	合 計
男	0	2	4	6
女	2	5	4	11
計	2	7	8	17

1 保育園の概要

(1) 沿 革

- ・平成 17 年 12 月 13 日 複合施設の認可外託児所キッズランドとして開設
- ・平成 25 年 4 月 1 日 『糸魚川市休日保育費用助成金』制度開始
- ・平成 28 年 4 月 1 日 事業所内保育所ひまわり保育園 開設 (定員 12 名)
- ・平成 30 年 4 月 1 日 定員変更 (19 名)
- ・令和 3 年 4 月 1 日 小規模保育所 (事業類型名) に変更

(2) 保育課題

- ・一人ひとりの最善の利益を守り、安全で快適な園生活の中、子どもが安心して遊べるように一人ひとりの気持ちを受け止め共感し、園内協議・連携により全職員同じ思いで真心を込めた保育を目指します。
- ・地域の方々が安心して楽しく子育てができる環境づくりをサポートし、いつでも気軽に相談できる子育て支援・保護者支援を、保育者自身の姿勢と共に園全体として体制を整え、地域全体の「子育て力」向上に努めます。

2 本年度の保育について

(1) 保育目標

- ・心もからだも元気な子ども
- ・意欲・自主性のある子ども
- ・自然の中で遊べる子ども

(2) 本年度の重点目標

- ・自分の気持ちを安心して表すことができる
- ・生活の中で伸び伸びと自分から体を動かすことを楽しむ。

(3) 重点目標達成の方策

少人数保育のメリットを活かし、家庭的な温かい雰囲気の中で、月齢に合わせた活動や体験、四季折々の自然とのふれあいを通して心も体も育み、子どもたち一人ひとりが笑顔で成長していけるような心の温かい保育に取り組みます。

田沢幼稚園の概要

所在地 糸魚川市大字田海 13-2
園長名 坂口 佳子
T E L 025-562-2002
F A X 025-562-2002

園 児 数 (令和7年5月1日現在)				
	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
男	12	6	6	24
女	4	4	9	17
計	16	10	15	41

1 幼稚園の概観

(1) 沿 革

- ・平成 5 年 4 月 1 日 田海保育所と須沢保育所を統合して開設
- ・平成 10 年 4 月 1 日 園児数増加により通園区域変更
田海・高畑地区の園児が青海幼稚園へ転園
- ・平成 23 年 4 月 1 日 通園区域変更 田海・高畑地区の園児が転入

(2) 教育課題

- 遊びの中で学ぶ幼児の育成
- 自己発揮できる幼児の育成
- 健康なからだの幼児の育成
- 地域との触れ合いに喜びを感じる幼児の育成

2 本年度の教育について

(1) 教育目標

- のびのびと自分らしさを発揮する子
- かよい合う心をもって遊ぶ子
- 自分で考え行動し責任をもとうとする子

(2) 本年度の重点目標

- 人とかかわる喜びを感じられる子
 - 3歳児 ・保育者に自分の思いを受け止めてもらう心地よさを味わい、安心して過ごす。
・自分のやりたい遊びを楽しむ。
 - 4歳児 ・自分のやりたい遊びを存分に楽しむ。
・友達と一緒に過ごす心地よさを味わう。
 - 5歳児 ・自分らしさを発揮し、友達とかかわる楽しさを味わう。
・互いの良さを感じ、仲間と一緒に過ごす喜びを味わう。

(3) 重点目標達成の方策

- 一人ひとりの発達に応じた指導を行うための保育者の役割や援助を認識し指導を行う。
- 豊かな心情を育むために、保育者は一人ひとりの幼児に丁寧にかかわり“一人ひとりを大切”にした指導や援助を行う。
- より良い指導・援助のあり方を保育者間で協議し合い実践につなげていく。
- 子ども理解をしながら共に子育てができるよう、保護者との連携を深める。

3 小学校との連携

＜ねらい＞幼・小の教育活動について相互理解を深め、生活や遊びの連続性を図るために、交流や連携を進める。

＜取 組＞

- つながりのある学びを進めるために、幼小相互の活動を共通理解する。
- 日常的な連携の実施
- 園児と小学校児童との交流活動
- 幼稚園・小学校相互の授業参観・保育参観、協議会の実施
- 情報交換の実施（1年生就学時前・入学後の園児・児童の様子について）

寺地保育園の概要

所在地 糸魚川市大字寺地 150-1
園長名 渡邊 智子
T E L 025-562-2032
F A X 025-562-2032

園 児 数 (令和7年5月1日現在)				
	0歳児	1歳児	2歳児	合 計
男	0	1	8	9
女	0	7	11	18
計	0	8	19	27

1 保育園の概観

(1) 沿 革

- ・平成 4年 4月 田海保育所で24名の乳児保育開始
- ・平成 4年 新築工事着工
- ・平成 5年 12月 旧寺地保育所の敷地に新所舎完工、移転
- ・平成 6年 4月1日 認可 定員36名 未満児保育・一時預かり保育開始
- ・平成 17年 4月1日 「寺地保育園」となる
- 7月 乳児室 事務室増改築工事着工
- 11月 完工 4か月児より受け入れ開始
- ・平成 27年 4月1日 定員変更 (40名)
- ・平成 28年 2月1日 定員変更 (45名)
- ・平成 30年 12月 改築工事着工
- ・平成 31年 3月 竣工
- 4月1日 定員変更 (60名)

(2) 保育課題

- 家庭や地域関係機関との連携により、健康で安全な生活環境を整え、人として生きていく力の基礎を培う。
- 0歳から3歳までの大切な人間形成期を認識し、個々の気持ちを温かく受容しながら基本的信頼感と自己肯定感を育てる。

2 本年度の保育について

(1) 保育目標 ○思いやりのある子 ○夢中になって遊ぶ子 ○元気な子

(2) 今年度の重点目標

- やってみたい！やってみよう！～ドキドキ・ワクワク 保育園たのしいな！～
- 0歳児・・・心地よさを感じ、安心して過ごす
- 1歳児・・・心地よさを感じ、安心して過ごす 興味をもった遊びを楽しむ
- 2歳児・・・安定し、心地よく過ごす 好きなことを見つけ、遊びを楽しむ

(3) 重点目標達成の方策

- 一人ひとりの思いを丁寧に受け止め、安心して生活できるようにする。
- 子どもたちの興味・関心に寄り添い、好きな遊びにじっくりとかかわっていけるようにする。
- 子どもが主体的に遊びや生活に取り組んでいけるように環境を整えていく。
- 子ども一人ひとりの成長や発達に合わせた援助やかかわりをしていく。
- 自分でやろうとする気持ちを大切にし、丁寧に見守ったり援助したりして、できた喜びを感じられるようにする。
- 子どもたちが健康で安定して過ごせるよう、生活リズムの大切さを伝えながら家庭との連携を図っていく。
- 園と家庭が情報交換をしながら信頼関係を築き、子どもの成長を支えたり喜びあったりする。

3 小学校との連携

- 「青海地域連携を進める会」の共通指導項目に取り組む。

青海幼稚園の概要

所在地 糸魚川市大字青海 675
園長名 山岸 早苗
T E L 025-562-2019
F A X 025-562-2019

園 児 数 (令和 7 年 5 月 1 日現在)				
	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
男	4	8	7	19
女	6	2	5	13
計	10	10	12	32

1 幼稚園の概要

(1) 沿 革

- ・平成 5 年 青海保育所と寺地保育所を統合し、青海幼稚園開設
- ・平成 10 年 田沢幼稚園幼児数増員により、田海、高畑地区の通園区域変更 青海幼稚園へ
- ・平成 12 年 歌外波保育所と統合
- ・平成 23 年 通園区域変更により、田海、高畑地区は田沢幼稚園へ

(2) 教育課題

- 基本的な生活習慣を身につけ、心も体も健康な子どもに育てる。
- 人とのかかわる力を育てる。
- 地域とのふれあいに喜びを感じる子供に育てる

2 本年度の教育について

(1) 教育目標

- 自分らしさを発揮し、夢中で遊ぶ子
- まわりの世界に目を向け、心を通わせる子
- 自分で考え、行動し、責任を持とうとする子

(2) 本年度の重点目標

- 自ら環境（人・もの・こと・自然）にかかわり、伝え合って育つ幼児の育成
 - 3 歳児重点目標
 - ・自分の思いを表しながら遊ぶことの心地よさを感じる。
 - 4 歳児重点目標
 - ・自分の思いを伝えたり相手の思いを聞いたりしながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
 - 5 歳児重点目標
 - ・互いの思いを伝え合いながら遊びや生活を進めていく。

(3) 重点目標達成のための方策

- 一人ひとりの発達に応じた指導を行うため、教師の役割を認識し、援助や環境の構成を行う。
- 幼児同士のかかわり合いを大切にし、共に育ち合う友だち関係を育むための援助や指導を行う。
- 豊かな心情を育むために、幼児一人ひとりの表しを受け止め、安心感、安定感を持って生活できるようにする。
- 子どもを理解しながら共に子育てができるよう、保護者との連携を深める。

3 小学校との連携

- 年間計画に沿った職員の打ち合わせ(つながりのある学びを進めるために、幼小相互の活動を共通理解する)
- 園児と児童との交流活動の実施
- 日常的な連携の実施
- 園職員による授業参観、授業協議会への参加
- 子どもの様子についての情報交換の実施(年度途中や小学校入学時等)